

乳幼児健診からみた「望まれなかった児と母親」の問題

北 道子 (国立精神・神経センター 精神保健研究所)

目的

児が父母などに望まれずに誕生するというのは、一般的にはどの程度存在するのか。これを的確に示すのはなかなか難しい。誰が望まないのか、いつ望まないと思ったのか、どういう局面で「望まぬ児」という状態を引き起こしているのかなど複雑な問題が混在している。

このような課題に対して、本年の研究では乳幼児健診時などを利用し、出産後数カ月の母親から情報を集め、パイロットスタディを行うことにした。乳幼児健診を利用することで、およそ一般的な群を対象としている。そして、主として母親に記述してもらうことになり、母親の側面からアプローチした実態の把握を中心に考えている。質問紙として、妊娠の予定、妊娠中のケアや問題、妊娠中の気持ち、出産時の問題、赤ちゃんの問題、出産後の気持ち、経済的問題、就労との関係等の項目を含んだものを用意した(資料1)。これらの質問を出産後数カ月の母親に行い、一般的な母親と児の実態とその概数を把握することを目的とした。また、現代の母親の持つ若干の問題を列挙し、その中で「望まなかった児」に関与する可能性のあるものを検討する端緒としたい。

方法

1995年1月から1995年3月にかけて、東京近郊の保健所に協力を依頼し、乳幼児健診時、および母親グループの集まりの時に資料1のアンケートを配布し、母親に自記式で記入を依頼した。回収は2回目の保健所来所時にボックスに入れてもらう、あるいは郵送してもらうことによって行った。アンケートの対象になったのは、表1に示すように、生後3カ月から4カ月の乳児とその母親が中心であった。

結果・議論

回収された調査票は141通であった。表1に示すように乳幼児は、男児70人、女児60人、(性別未記入11人)であった。平均日齢は173日。生後3~4カ月の乳児が中心であるが、母親グループの一部に1歳前後の児が含まれていたため、平均日齢は若干高くなっている。母親の年齢分布が16から42歳、平均が28.3歳であった。父親は18歳から46歳、平均が30.8歳であった。祖父あるいは祖母と同居している拡大家族は18%存在した。また、兄あるいは姉がいる家族は42%(うち第2子が48人、第3子が10人、第4子が1人、兄弟のいない1人目の子どもであるのが79人。)であった。

次に望まない妊娠に関連のありそうな項目をいくつかあげて、表2に示した。ここに示すように、今回の妊娠が予定した妊娠ではなかった人は、37%(実数は138人中51人)存在した。また、妊娠中出産の準備として、十分なケアがなされたかどうかを見るものとして、妊娠中の喫煙や飲酒に関して、妊婦健診や母親学級に参加したかどうかなどをあげた。妊婦健診に全く行っていない人2%、第一子であるのに母親学級に一度も参加していない人7%、妊娠中もほぼ普段と同様に喫煙していた人6%、妊娠中もほぼ普段と同様に飲酒していた人3%であった。妊娠中のケアを十分にはしていない可能性のある群(問題があるとは限らないが)が、それぞれ一桁台%ではあるが存在した。

資料の質問のなかで、母親の妊娠中や出産後の気持ちを尋ねているものがある。表3と表4に示した(資料中とは若干質問項目の順番が異なる。)。妊娠中の問題として、

自分のことでストレスを感じていた人26%、家庭内に気苦労が多くてという人19%、その他妊娠自体の苦しさや病気のこと心配という人18%、14%。このように約1割から2割の人が何らかのことで多少とも問題をかかえていたといえる。そして、出産後になると、仕事との関係で葛藤がある人13%、家族ともめたり家族の育児参加に不満足な人が17%、9%に存在する。育児不安や赤ちゃんの世話に負担を感じる人は、33%、47%であった。一般に、この1割から2割強の多少とも問題をかかえる人々の存在は銘記しておくべき点であろう。また、育児不安などをかかえる人はもう少し多く3割から4割に上る。

つぎに、今示した母親の気持ちの項目のなかより、赤ちゃんに対する母親の気持ちの時間的な推移のなかでの変化を見てみる。表5に示すようにまず、「妊娠そのものが予定していたものではなかった」という人が前述したように37%存在した。しかし、「妊娠したとわかったときにうれしくはない」と答えたのは、わずかに4%、「どちらでもない」というのを加えても17%に減少している。さらに、「妊娠中に生まれてくる子のことが楽しみとはおもわない」という人は0%になり、「どちらでもない」も4%にすぎない。ちなみに、「妊娠したとわかったときうれしくはない」と答えた4%の人と、「妊娠中生まれてくる子のことが楽しみ」に、「どちらでもない」とされた4%の人は、ほとんどが「予定した妊娠ではなかった」と答えた37%の人のなかに含まれていた（1人例外を含む）。そして、出産したあとでは100%全員が「赤ちゃんはかわいい」と答えていた。上記のように、妊娠時には全員がうれしいと感じているわけではないが、出産し、育てている段階になると、赤ちゃんをかわいいと感じている一般の母親の状態がみえるようである。ただし、その一部にはストレス、仕事との葛藤、家庭もめ事などで悩む母親の姿があり、育児不安や赤ちゃんの世話の大変さを思う母親も存在する。このように、今回協力いただいた人々のなかでは、多少とも問題になるようなことはあつたにしても、妊娠中、出産後とそれらの問題は大きく残ることはなく、過ごしていける方がほとんどであるという一般的な実態を示しているといえる。

ここで、「予定していなかった妊娠である」とした37%の群と、「妊娠がわかってうれしくはない」か、「どちらでもない」とした17%の群と、「生まれてくる子が楽しみ」にどちらでもないとした4%の3群に分けて考えてみることにした。それぞれの群は妊娠に対して若干の否定的な感情を示している可能性のある群であると考えられる。それぞれの群のなかで各項目に対する答えがどの程度変動するかを表6から表15に示した。

まず、表6で母親の年齢をとりあげると、19歳以下の若年の妊娠は全体のなかで、2%（実数3人）である。そのうち2人は「予定していなかった」「うれしいといえない」という群に残っている。少数例ではあるが、若年妊娠は望まぬ妊娠に対して留意しておくべき項目であると考えられる。同じく妊娠中のケアでとりあげた（表2）喫煙に関して表7に示した。若干の傾向はある。

妊娠中の母親の気持ちのなかで、表8に示すように「自分のストレスがあつて大変だった」という問いに対し、「いいえ」と答える人の割合は全体では51%を示すが、上記した3群では30%台へと減少する。「家庭内の気苦労」に対しても同様の傾向が見られた。ストレスなどは妊娠に対してもある程度否定的感情を生むものと考えられる。

表11に「出産は経済的に負担だった」という項目で経済状態を尋ねた。明らかな傾向は現れない。これは質問の仕方が難しく十分な情報がえにくい部分である。

表12、13に示したように、出産後の母親の気持ちを聞いたなかで、「育児不安」が

あるとする人はどの群でも1/3以上にある。そして、「赤ちゃんの世話は大変である」と感じている人は全体では、47%であるが、下に示した3群ではそれぞれ64%、74%、67%と、負担に感じている人の割合が高い。また、赤ちゃんの様子を聞いたなかに、表10の「楽に育てられる」に対しても、下の3群に育児に対する負担感がやや強く表れている。

一般に仕事に対する意欲は大変に高く、出産前に仕事をしていた人は58%、出産時にもしていた人は14%、出産時に仕事をしていなくて将来仕事をしたいと思っている人79%であった。この将来仕事をしたいと思っている人の割合は表14に示すように、下の3群では、89%、90%、100%と1~2割高くなっている。意欲的なポジティブな側面であり、必ずしも問題になるわけではないが、前述したストレスや、仕事との葛藤を引き起こす側面はもっている。

また、「人生設計に変化があった」と思う人は、表15に示すように、全体では24%、下の3群では33%、50%、17%とやや高くなっている。変化の内容に関しては、表16に示したが、仕事のこと、金銭的なことなどが多い。

相談をする人の有無を尋ねた質問には、96%の人がいると答えている。孤立育児の危険がいわれているが、ほとんどの人が、表17のごとく、友人を筆頭に、夫や母、姑や他の家族などの相談相手もっている。

質問票の最後に自由記述で、赤ちゃんに対する関心事項と、社会や家族に望むことを書いてもらった。一部の人々の記述であるが、一般の母親のニードを反映すると考えられる(表18、19)。赤ちゃん自身に関する情報や将来の教育問題など、経済的な問題、仕事や育児環境の整備のことなどに関心が高い。

これらの資料をもとに、本格的な調査を次年度に予定している。また、児童相談所におけるデータや、児童精神科臨床における資料、虐待事例からの資料などをあわせて考慮していくことで、今後の母子のケアに資するものを出していきたいと考えている。

総数	141人
男児	70人
女児	60人
不明	11人
児の日齢	
平均	173日
標準偏差	155
母親の年齢	16歳~42歳
平均	28.3歳
標準偏差	4.51
父親の年齢	18歳~46歳
平均	30.8歳
標準偏差	5.07
家族構成	
核家族	82%
拡大家族	18%

予定した妊娠ではない	37%
若年妊娠(20歳未満)	2%
妊娠中のケアの問題	
妊婦検診を受けていない	2%
第一子であるが母親学級を受けていない	7%
喫煙	6%
飲酒	3%

表3 妊娠中の母親の気持ち

	(回答者の人数%)		
	はい	どちらでもない	いいえ
妊娠したとわかったときうれしかった	82%	13%	4%
生まれてくる子のことが楽しみだった	96%	4%	0%
妊娠中家庭内に気苦労が多くて大変だった	19%	18%	63%
妊娠中自分のことでストレスがあつて大変だった	26%	22%	51%
自分が病気などをして心配した	14%	8%	78%
妊娠は苦しく辛かった	18%	32%	50%

表4 出産後の母親の気持ち

	(回答者の人数%)		
	はい	どちらでもない	いいえ
出産は達成感があつてよかった	67%	26%	7%
赤ちゃんはとてもかわいい	100%	0%	0%
育児に対する不安がある	33%	35%	32%
赤ちゃんの世話は大変である	47%	27%	26%
自分の仕事の関係で葛藤がある	13%	15%	72%
家族でもめることがある	17%	19%	64%
家族の育児への協力を満足している	54%	37%	9%

表5 望まない妊娠に関連する母親の気持ち

	(回答者の人数%)		
	はい	どちらでもない	いいえ
予定した妊娠であった	63%		37%
妊娠したとわかったときうれしかった	83%	13%	4%
妊娠中、生まれてくる子のことが楽しみだった	96%	4%	0%
赤ちゃんはとてもかわいい	100%	0%	0%

表6 母親の年齢

	20歳以上	19歳以下	19歳以下の実数
全体	98%	2%	3:141
予定していなかった妊娠 (37%)	96%	4%	2:51
妊娠がわかってうれしいとはいえないか、どちらでもない (17%)	92%	8%	2:24
生まれてくる子が楽しみにどちらでもない (6人)	100%	0%	0:6

表7 喫煙

		すった	すったの実数
全体	94%	6%	8:136
予定していなかった妊娠 (37%)	96%	4%	2:50
妊娠がわかってうれしいとはいえないか、どちらでもない (17%)	88%	13%	3:24
生まれてくる子が楽しみにどちらでもない (6人)	100%	0%	

表8 自分のストレスがあつて大変だった

	はい	どちらでもない	いいえ
全体	26%	22%	51%
予定していなかった妊娠 (37%)	30%	34%	36%
妊娠がわかってうれしいとはいえないか、どちらでもない (17%)	42%	21%	37%
生まれてくる子が楽しみにどちらでもない (6人)	17%	50%	33%

表9 家庭内の気苦労が大変

	はい	どちらでもない	いいえ
全体	19%	18%	63%
予定していなかった妊娠 (37%)	22%	24%	55%
妊娠がわかってうれしいとはいえないか、どちらでもない (17%)	25%	21%	54%
生まれてくる子が楽しみにどちらでもない (6人)	33%	33%	33%

表10 楽に育てられる

	はい	いいえ
全体	86%	14%
予定していなかった妊娠 (37%)	76%	24%
妊娠がわかってうれしいとはいえないか、どちらでもない (17%)	67%	33%
生まれてくる子が楽しみにどちらでもない (4%; 6人)	67%	33%

表11 経済的負担

	はい	いいえ
全体	44%	56%
予定していなかった妊娠 (37%)	44%	56%
妊娠がわかってうれしいとはいえないか、どちらでもない (17%)	65%	35%
生まれてくる子が楽しみにどちらでもない (4%; 6人)	33%	67%

表12 育児不安

	はい	どちらでもない	いいえ
全体	33%	35%	32%
予定していなかった妊娠 (37%)	34%	38%	28%
妊娠がわかってうれしいとはいえないか、どちらでもない (17%)	52%	30%	17%
生まれてくる子が楽しみにどちらでもない (4%; 6人)	33%	50%	17%

表13 赤ちゃんの世話は大変

	はい	どちらでもない	いいえ
全体	47%	27%	26%
予定していなかった妊娠 (37%)	64%	14%	22%
妊娠がわかってうれしいとはいえないか、どちらでもない (17%)	74%	4%	22%
生まれてくる子が楽しみにどちらでもない (4%; 6人)	67%	17%	17%

表14 将来の仕事

	したい	したくない	したいの実数
全体	79%	21%	80 : 101
予定していなかった妊娠 (37%)	89%	11%	31 : 35
妊娠がわかってうれしいとはいえないか、どちらでもない (17%)	90%	10%	18 : 20
生まれてくる子が楽しみにどちらでもない (4%; 6人)	100%	0%	

表15 人生設計の変更

	あり	なし	ありの実数
全体	24%	76%	32 : 134
予定していなかった妊娠 (37%)	33%	67%	16 : 48
妊娠がわかってうれしいとはいえないか、どちらでもない (17%)	50%	50%	11 : 22
生まれてくる子が楽しみにどちらでもない (4%; 6人)	17%	83%	1 : 6

表16 人生設計の変化の内容 (記載26人)

仕事関連の変化 (やめた、正社員でいられなくなった、予定を変更したなど)	11
金銭関連 (貯蓄をしようと思った、大きな買い物をやめたなど)	7
子ども第一に考えるようになった	4
もっと子どもが欲しいと思った	1
家を建てようと思った	1
結婚が早くなった	1
生活のリズムが変わった	1

表17 相談をする人 (132人 複数選択)

夫	80
母	89
姑	36
その他の家族	40
友達	100
保健婦	14
保母	2
かかりつけ小児科医	1

表18 赤ちゃんへの関心

成長	40
健康	22
病気や障害のこと	10
食生活や生活環境	5
赤ちゃんの反応	12
性格	6
しつけ	1
将来のこと	2
遊び方	1

表19 社会や家族に望むこと

育児情報などが欲しい	5
教育問題の改善 (いじめを含む)	6
遊べる環境づくり	9
医療の充実	2
住宅事情の改善	8
経済的負担が大きい	6
分娩費用などの医療補助	12
育児休暇など働く環境の改善	8
保育制度や環境の充実	8
父親や家族の育児参加	6
保健所への要望	3
安全な国に	2

資料1

記入年月日 平成 年 月 日

記入者 (母・父・その他)

1. 赤ちゃんの生年月日：平成 年 月 日 性別：(男・女)

2. いっしょに住んでいる人 (母・父・兄・姉・弟・妹・祖父・祖母・その他)

3. 赤ちゃんは何番目のお子さんですか 番目

4. 出産した時のあなたの年齢 才

5. 出産した時のご主人の年齢 才

6. 今回の赤ちゃんの妊娠は何回目の妊娠でしたか。 回目

7. 今回の妊娠は予定した妊娠でしたか。 (はい、いいえ)

8. 出産するに際して、身内に気がかりな病気がありましたか。 (あり・なし)
 ありの場合、だれが どのような病気で

9. 妊婦検診を何回利用しましたか。 回

10. 母親学級を何回利用しましたか。 回

11. 赤ちゃんを妊娠している時、あなたは次のような病気をしましたか。
 (特になし・インフルエンザ・風疹・感冒・その他発疹がでる病気・貧血・
 心臓病・糖尿病・その他の病気)

12. 妊娠中たばこを吸っていましたか。

13. 妊娠中お酒を飲みましたか。
 (ふだんからすわらない・妊娠中はすわなかった・少しすった・すった)

14. 流産しそうなようになったことがありますか。 (あり、なし)

15. 妊娠中、レントゲン検査など放射線をあびたことがありますか。 (あり、なし)

16. 妊娠中にむくみ、高血圧、たんぱく尿などはありましたか。 (あり、なし)

17. 妊娠中、薬を使用しましたか。
 (服用なし・バリウム・安眠剤・糖尿病の薬・抗生物質・腫瘍薬・その他の薬)

18. 薬の使用のある場合、その薬を飲んだのは妊娠 月のころ

18. 妊娠中のあなたの気持ちにあてはまるところに○をつけてください。

妊娠したとわかった時うれしかった。 (はい・どちらでもない・いいえ)

妊娠中自分のことでストレスがあつて大変だった。 (はい・どちらでもない・いいえ)

自分が病氣などをして、心配した。 (はい・どちらでもない・いいえ)

生まれてくる子のことが楽しみだった。 (はい・どちらでもない・いいえ)

妊娠中、家庭内に気苦労が多くて大変だった。 (はい・どちらでもない・いいえ)

妊娠は苦しくつらかった。 (はい・どちらでもない・いいえ)

そのほか妊娠中、特に感じていたことや特別なできごとがあればお書きください。

19. 出産にともなつて以下のことがありましたか。
 (特になし・陣痛をおこす薬の使用・難産・さかご・鉗子分娩・吸引分娩・帝王切開・
 膣のおが首に巻いていた・早期破水・仮死・その他)

20. 分娩までの在胎週数は 週

21. 分娩時間はどのくらいかかりましたか。 時間

22. 産まれたときの赤ちゃんの体重はいくらでしたか。 ｇ

23. 赤ちゃんは黄疸のために治療をしましたか。
 (しない・光線療法 日間・血液交換・その他 日間使用)

24. 保腎器を使用しましたか。 (しない・ 日間使用)

25. 赤ちゃんは生まれつきの問題を何か指摘されましたか。 (特になし・あり)

26. 赤ちゃんは母乳やミルクを飲ませにくい子だった。 (はい・いいえ)

27. 赤ちゃんは、すぐいらして、泣いたりわめいたりする、あやしてもなかなかおさまらないタイプの子である。 (はい・いいえ)

28. 赤ちゃんは寝つきにくく、ぐずる。 (はい・いいえ)

29. 赤ちゃんはよく寝る子で手がかからない。 (はい・いいえ)

30. 赤ちゃんはあやすとよく笑い、親の目をよくみる。 (はい・いいえ)

31. 病気をしがちの赤ちゃんだ。 (はい・いいえ)

32. 比較的に育てられる赤ちゃんと違う。 (はい・いいえ)

33. 赤ちゃんはよく声をだしている。 (はい・いいえ)

34. 出産に際して、経済的に負担に思いましたか。 [はい・いいえ]
35. あなたは小学校に入学してから何年間学校に通いましたか。
[8年以下・9年・10年・11年・12年・13年・14年・15年・16年・17年以上]
36. 子供が生まれてからのあなたの気持ちにあてはまるところに○をつけてください。
 出産は達成感があってよかった。 [はい・どちらでもない・いいえ]
 育児に対する不安がある。 [はい・どちらでもない・いいえ]
 自分の仕事との関係で葛藤がある。 [はい・どちらでもない・いいえ]
 赤ちゃんはとともかわいい。 [はい・どちらでもない・いいえ]
 家族でもめることがある。 [はい・どちらでもない・いいえ]
 赤ちゃんの世話は大変である。 [はい・どちらでもない・いいえ]
 家族の育児への協力が満足している。 [はい・どちらでもない・いいえ]
37. あなたは現在仕事をしていますか。 [はい・いいえ]
 はいの場合、その時間赤ちゃんの養育はどのようにしていらっしゃいますか。
 [保育園・職場保育所・家庭(養育者は____)・その他____]
 いいえの場合、今後いつかは仕事をしたいと思っていますか。 [はい・いいえ]
38. あなたは出産前、仕事をしておられましたか。 [はい・いいえ]
39. 子どもはあと何人ほしいですか。 _____人
40. 出産にともなって、あなたの人生設計に変化がありましたか。 [はい・いいえ]
 はいの場合、どんなことですか。 _____
41. 身近に育児のことなど気軽に相談する人がいますか。 [はい・いいえ]
 はいの場合、それはどなたですか。(複数に○をつけてかまいません。)
 [夫・母・姑・それ以外の家族・友達・保健婦・その他_____]

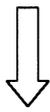
赤ちゃんのどんなことにもっとも関心を持っておられますか。

安心して子どもを育てることができるとともに、社会や家族に望むことがありましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用 論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



目的

児が父母などに望まれずに誕生するというのは、一般的にはどの程度存在するのか。これを的確に示すのはなかなか難しい。誰が望まないのか、いつ望まないと思ったのか、どのような局面で「望まぬ児」という状態を引き起こしているのかなど複雑な問題が混在している。

このような課題に対して、本年の研究では乳幼児健診時などを利用し、出産後数カ月の母親から情報を集め、パイロットスタディを行うことにした。乳幼児健診を利用することで、およそ一般的な群を対象としている。そして、主として母親に記述してもらうことになり、母親の側面からアプローチした実態の把握を中心に考えている。質問紙として、妊娠の予定、妊娠中のケアや問題、妊娠中の気持ち、出産時の問題、赤ちゃんの問題、出産後の気持ち、経済的問題、就労との関係等の項目を含んだものを用意した(資料 1)。これらの質問を出産後数カ月の母親に行い、一般的な母親と児の実態とその概数を把握することを目的とした。また、現代の母親の持つ若干の問題を列挙し、その中で「望まなかった児」に関する可能性のあるものを検討する端緒としたい。